平成26年5月10日発行

星陵陸上倶楽部　会報　第27号

■■■ご挨拶■■

星陵陸上倶楽部会長　金澤　学(平成16年卒)

会員の皆様、日頃から星陵陸上倶楽部の活動にご協力頂き、ありがとうございます。皆様のおかげさまで、新体制での平成25年度の活動を行うことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。平成25年度は新しく部署性の導入を実施し、facebook 等を用いた情報の提供をさせて頂きました。また、特筆すべきは「星陸 AC」が立ち上がったことです。今後、会員の皆様にも活動内容や練習会等の情報を連絡させて頂きたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

さて、4月1日より平成26年度が始まりました。この度、星陵陸上倶楽部総会(平成26年6月21日開催)をなるべく会員の皆様にお知らせできますよう、卒業生名簿の全面更新を行いました。これからも、住所等の変更がございましたら、ご一報を頂けますと幸いです。引き続き、日比谷高校陸上競技部と星陵陸上倶楽部の活動をご支援頂きますよう、よろしくお願いいたします。

■■■新役員より一言■■■

千田　周平（平成23年卒）

平成23年卒の千田周平です。現役時代は短距離で部長でした。競技はまだ続けていますので、高校生に負けないようにしつつも星陵陸上倶楽部の会員として現役部員の役に立てればと思います。よろしくお願いします。

入江　真希（平成25年卒）

この度星稜陸上倶楽部の新役員になった平成 25 年度卒の入江と申します。現役時代に部としての活動にあまり貢献できていなかったので、役員という形で現役の日比谷陸上部を支えていきたいと思っています。よろしくお願いします。

■■■主要大会結果(決勝一覧)■■■

①第64回全国高等学校男子駅伝競走大会東京都予選会(都駅伝)
2013年11月3日(荒川河川敷)
神津忠寿(2)ー毎田優(1)ー上野周平(2)ー河原健二郎(1)ー安達圭汰(1)ー野村琢登(1)ー高島祐介(3)　2'32"45　第61位

②東京都高等学校対抗選手権大会　第一支部予選会(春支部)
2014年4月26日～4月27日(大井競技場)
男子400mH　岡村希一(1)　59"45　第8位→都大会進出、十傑入り
男子棒高跳　戸部潤一郎(3)　3m60　第6位→都大会進出
女子4×400mR　安達真菜(3)ー松村香穂(3)ー枝吉綾(3)ー山本夏子(2)　4'15"93　第7位　→都大会進出

■■■今シーズンの展望！■■■

松崎　駿（平成23年卒）

H23年卒の松崎駿と申します。今シーズンの展望を、インターハイ路線を中心に記していきたいと思います。

【男子短距離】

リレー種目も含め、男子短距離は 4 年前より都大会出場者が出ていない。このような沈黙を破ろうとしているのが、昨年副部長を務めた釜谷陵太郎(3年)だ。昨年は100mから400mまで幅広く挑戦していたが、しっかりとした走力がついた今シーズンは専門種目を200mに絞り、初戦ですでに23秒4で走っている。支部大会では22秒台での都大会進出を狙う。

4×100mR、4×400mRにも注目だ。釜谷に加え今年度新たに入部したエースが岡村希一(1年)だ。昨年は400mで全日中に出場し、自己記録も51秒台と力がある。この2名に、100mで11秒台に迫る実力をもつ2、3年生が5名加わり、リレーチームとして都大会出場を目指す。

Copyright © 2014　日比谷高校「星陵陸上倶楽部」

また、400mH も充実している。先述の岡村は、400m の圧倒的走力に加え、110mH でも都大会入賞を経験している。本人も400mH に興味があり、これからの活躍が期待される。また、この種目を専門とし練習を重ねてきた望月祐輔(3 年)と守屋厚志(2 年)にも期待がかかる。

【男子中長距離】

ここ数年では最も多い人数をブロックに抱える中長距離からも、今年は都大会出場者を輩出したいところだ。なかでも注目は、800m の毎田優(2 年)、1500m の上野周平(3 年)、5000m の神津忠寿(3 年)だ。それぞれ、部内でも専門種目での実力は群を抜いており、昨年も支部の決勝まであと少しというところであった。冬期でついた走力に加え、試合までの期間でスピードを身につけることができれば、3 人揃っての支部入賞も不可能ではない。ブロック内で切磋琢磨しながら、上部大会を目指してほしいところだ。

少し先の話になるが、人数が多いだけに今年は駅伝での活躍も期待できる。昨年、3 年ぶりの出場を果たし、3 年生ながら出場した高島祐介(H26 卒)を中心にいい流れをつくることができた。今年はそれを受け継ぎ、是非良い結果を残してほしい。13 年ぶりの日比谷歴代十傑の更新はなるであろうか。

【男子跳躍】

昨年は、棒高跳の渡辺淳之(H26 卒)が、インターハイ出場まであと 1 歩のところまで迫ることができた。そして今年は、彼が一から育てた後輩の戸部潤一郎(3 年)が、関東出場を狙う。今シーズン初戦でも、いきなり自己ベストを大幅に更新する3m40 をマークした。都大会本番で 3m80 を跳べるかどうかが、関東進出の目安になってくるであろう。

【女子短中距離】

1 年時から都大会での活躍を見せている松村香穂(3 年)の、最後のインターハイ路線に期待がかかる。昨年の新人都大会では決勝に進出し、高校陸上では自身初の入賞を果たした。ひと冬の練習は、彼女の順位を 2 つ押し上げることはできるのだろうか。58 秒台前半を目標に、最後まで頑張りを見せてほしい。

そして、なんと言っても今年一番の注目は女子 4×400mR だ。昨年、日比谷歴代 1 位の記録を塗り替え、新人都大会では16 位と大健闘した。圧倒的走力を誇る松村を中心に、準エースの安達真菜(3 年)もフラットレースで 62 秒 2 をマークしており、残る 2 人の走力も申し分ない。年々レベルが上がっている都大会を抜けるには、4 分 3 秒を切ることが最低条件となるだろう。過去にないほどのメンバーが揃った今年に、全員が実力を発揮することができるだろうか、都大会の決勝に期待したい。

マイルメンバーとして松村、安達を支えるのが、中距離を専門とする山本夏子(2 年)と枝吉綾(3 年)だ。マイルでの関東大会出場をめざし 400m 中心の練習を行っているが、専門である 800m でも、都大会に出場する力は十分に兼ね備えている。支部では、800m とマイルが同日であることから厳しい戦いになるが、こちらも期待したいと思う。

【女子跳躍】

昨年、陸上初心者ながら都大会に進出した古矢野々香(2 年)の都大会進出は堅いだろう。1m55 を跳んで、決勝に残ることができるだろうか。来年の最後の勝負に向けて、今年どこまで記録を伸ばすことができるか、大いに注目したい。

現在(3 月 20 日)の部員数は 27 名。上に名前を挙げたのは一部ですが、それ以外の部員たちも、厳しい練習に日々全力で挑んでいます。また、昨年で関東大会への連続出場は5年となりました。今年も、日比谷高校の大いなる活躍を期待し、現役生のサポートを続けていく所存です。

■■■現役補助費の内訳報告■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

会計担当　冨岡薫(平成 24 年卒)

昨年度も多くの皆様から会費や寄付金を頂きまして、誠にありがとうございます。皆様が納入して下さった貴重な資金の一部は、現役補助費とさせて頂いております。そこで、この場をお借りして平成 25 年度の現役補助費の内訳報告をさせて頂きます。

Copyright © 2014 日比谷高校「星陵陸上倶楽部」

・高跳び用ポール代金 83,002 円　 以上

今年度も皆様が納入して下さる会費や寄付金を基に、現役の選手達が陸上競技に励みやすい練習環境を作り、更なる躍進を遂げてくれることを願っております。本年度も是非、会費の納入をよろしくお願い致します。

■■■合宿のお知らせ■■■

島田大(平成 20 年卒)

今年も昨年までと同様に、長野県・菅平高原にて夏季合宿が行われます。詳しい日程は決まっていませんが、7月下旬ごろ、4泊5日のスケジュールで実施される予定です。日取りが決定いたしましたら、追って星陵陸上倶楽部ホームページ上や、会報などにてご連絡いたします。

日ごろなかなか接点を持つことの出来ない現役部員たちと深く交流の図れる機会です。まだまだ競技を続けている方も、ここの所ご無沙汰な方も、是非是非ご参加ください。

■■■特集☆オリンピックの報奨金☆■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

竹井　友規（平成 20 年卒）

昨年、2020年の日本オリンピック開催が決まりまして日本全体が盛り上がっていますよね。日本オリンピック委員会（JOC）はメダリストに報奨金を支払っておりまして、金 300 万円、銀 200 万円、銅 100 万円となっています。ちなみにJOCから支給される報奨金に対しては、法律で規定されているため、税金がかかりません。（非課税です。）
では他国では支払われているのでしょうか？

各国金メダル報酬額

アメリカ(約 270 万円)
韓国(約 540 万円)※アテネ五輪の2倍。
中国(約 1500 万円)※選手の知名度によって幅があります。
ロシア(約 1690 万円)
マレーシア(約 3300 万円)
シンガポール(約 8450 万円)

金メダルをとるならシンガポールがいいかもしれませんね(笑)オリンピックの話題も増えてくると思いますので雑談のネタにでもなれば幸いでございます。

■■■卒業生の近況(3)　平成 21 年卒■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

第 3 回目となる今回は、平成 21 年卒の皆さんの近況を報告します！

勝野　亜希子
社会人1年目、只今新人研修の真っ最中です。

清水　健一
名古屋生活2年目。楽しく働いて食べ歩いています。

山本　祐資
来年度は留年していなければ杏林大学医学部5年です。

五十嵐早紀
いまは東工大大学院社会理工学研究科社会工学専攻修士 1 年で就活していて、来年度は修士 2 年になる予定です。

Copyright © 2014 日比谷高校「星陵陸上倶楽部」

中田雄
なう東工大大学院一年です。就活早く決まるといいな…。

野澤 駿平
来年度筑波大大学院修士 2 年になります。現在就職活動で久々に都内を走り回っております！

櫻庭瑞季
卒業できるかできないかの判定を間近に控えております

阿部翔平
千葉大教育学部を卒業して、現職システムインテグレータの1年目です。(M 菱系)

■■■WEBページのご紹介■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

①日比谷高校陸上部ホームページ（卒業生作成）
http://hibiya.ne.jp/

②日比谷高校陸上部ホームページ（現役部員作成）
http://hibiya2013trackfield.web.fc2.com/

③日比谷高校陸上部卒業生メーリングリスト（平成 16 年卒金澤作成）
hibiya-rikubu-ob@freeml.com
こちらのメーリングリストには現在約 100 名の卒業生が参加しています。
現役の大会・合宿・練習のお知らせ、ミニ会報の更新情報、総会のお知らせなどを不定期で配信していきます。
随時メンバーを募集していますので、まだ参加されていない方は是非上記のメールアドレスにご投稿よろしくお願いします。

■■■年会費納入のお願い■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■

毎年多くの方々から年会費を納入していただき、【現役部員の活動の応援】や【現役 OB・OG 対抗戦の開催】をすることができます。ありがとうございます。
今年度も引き続き、現役部員の活動を応援するための年会費の納入をお願いいたします。
＜年会費＞
社会人　3500 円　　　学生　1000 円

＜振込先＞
～郵便局からのお振込み～
00170-9-58234 星陵陸上倶楽部（セイリョウリクジョウクラブ）

～銀行からのお振込み～
UFJ銀行 綱島支店（店番号 640） 普通口座 5078403

■■■編集後記■■

竹井　友規（平成 20 年卒）

今回会報第27号を作るにあたりまして、会報チーム含め多くの方に協力頂きました。どうもありがとうございます。最近は新メンバーが続々と増え、役員会も盛り上がってきました。また大会結果を見ますと日比谷陸上部も毎年レベルが上がってきているように思います。これも OB・OG の方々の援助と役員会の活動が選手達を上手く後押し出来ているからだと感じます。OB・OG の方々と現役選手達の繋がり増すことで、役員会への若い参加者が増え、それがまた現役選手との繋がりを深めている良い循環の中にいるのではないでしょうか。更なる日比谷陸上部の活躍のため、今後も情報の発信に努めて参りたいと思います。

Copyright © 2014 日比谷高校「星陵陸上倶楽部」